

全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 5000m競歩 陸上競技部 山西選手がアジアおよび日本新記録で優勝

9月19日（土）、愛知製鋼陸上競技部（監督：児玉泰介）所属の山西利和選手が、埼玉県熊谷市にて開催された「第68回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会」の男子5000m競歩に出場し、18分34秒のアジアおよび日本新記録を打ち立て、初優勝しました。

山西選手は、2019年10月に行われた第17回世界陸上競技選手権大会（男子20km競歩）で日本人初優勝を果たし、東京オリンピック出場内定を決めています。

本大会では、初めから先頭に踊りだして歩みを進め、2500m手前から独歩状態となり圧勝しました。これは、来年の東京オリンピック 男子20km競歩に向けて弾みをつける結果となりました。

また、同じく陸上競技部の丸尾知司選手も同競技に出場し、19分11秒の自己新記録を打ち立て、4位に入賞しました。

今後も更なるチーム力強化を推進し、世界の舞台で活躍できる選手の育成に努め、よりいっそうの日本のスポーツ振興と地域貢献を果たしていきます。



アジアおよび日本新記録を打ち立てた山西選手



自己新記録を更新した丸尾選手